

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	鳥取県立鳥取療育園		公表日 令和7年 3月26日 回収率 22名/22名 100%			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20	2		・個で対応できるスペースがない ・参加人数に対して広すぎると感じることもある ・スペースに比べて利用児童が少ない方だと思う	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	21	1	・人数調整(大人と子どもの比)をしながら対応している	・職員の数が多すぎる。他部署が人手不足になることがある ・利用者が少ないので職員が多い ・利用人数に比べて職員が多いくらいだと思う	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	22	0	・マットや衝立てを使用したり、活動と部屋を一致させたり ・広さあり。利用によって区画を作り構造化されている		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	21	1	・掃除業者が入ってくれるため常にきれいである。その分職員は支援業務をじっくりできている	・体温調整が難しい子どもさんもおられたり、裸足でプレイホールを歩いたり四つ這いをされるお子さんもおられ、床が冷たいのは気になる。 ・静電気発生も対策が必要と思われる	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	1			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	19	3		・特定の職員の意見が通りやすい ・振り返りに日々みんなが入れているのは活動についての振り返りである。業務全体については上司が決定している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	1	・年1回評価表をお願いしている。集計・改善案はHPに公表している ・意見箱を各活動室に設置している ・個別支援計画書振り返りアンケートに記載欄あり	・評価表に加え、直接意向や意見を聞き取る機会を持つことも必要。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	2	・若手からの意見も反映しやすいように取り組んでいる ・各委員会が機能し、改善している	・意見を言いにくいという声を聞いたことがある	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	22	0			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22	0	・園内研修がさかん		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	22	0	・HPに公表している ・各活動室に掲示している		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22	0	・客観的評価を取り入れている ・職種による立案とカンファレンスを行っている		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22	0	・支援にかかわる職員が出席している ・職種による立案とカンファレンスを行っている		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	22	0	・個別支援計画の各児童のねらいを日々の活動に盛り込んでいる ・職種による立案とカンファレンスを行っている ・日々のねらい・振り返りがある		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	21	1	・多職種でアセスメントや見立てを行っている		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	0			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	22	0	・保育士を中心とし、各専門職員と話し合いながら立案している		

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	22	0	・繰り返しの中にも、使用道具や材料などバリエーションを持たせるようにしている ・個の経験や積み上げに応じた工夫がされている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	22	0	・日々振り返りに取り組んでいる	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22	0	・日々振り返りに取り組んでいる	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22	0	・電子カルテに一律に残っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	22	0	・6か月に1度実施している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22	0		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	2	・お互いの園の活動を訪問する機会を持てるようにしている	・直接会うことは難しい場合がある
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	0	・移行支援会議を実施している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	17	1		・それぞれが単独のように思う
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18	0	・園内の別事業で行っている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16	1	・園として参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	11	・児童に合わせ見学などに行く機会もある	・医療型では、夏季を利用し“家族参観日”を設けてきょうだい児との交流の機会を計画している。頻度は少ない。 ・家族参観日を実施したが、参観に来られるきょうだいはなかった
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	21	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	21	0	・外来事業と連携している		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	21	0	・契約時に行うとともに、各活動室に掲示している	・支援プログラムについての説明は十分ではないと思う	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	21	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21	0			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20	1	・定期ではないが必要時に行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17	4	・数カ月に1回、通所利用の機会を利用し、保護者会を実施している ・保護者同士の交流する機会が設けられている	・現時点で、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援が十分にできていると思えない事業もある。 ・きょうだい同士の交流の機会の設定は行っていない。 ・一層充実させる必要がある
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	21	0	・医療型では、毎月の出席取りまとめ表にお知らせなども記載している。また、都度お知らせを配布しているものもある。 ・活動や行事など、HPに掲載している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21	0	・施錠される空間で保管している ・持ち出し時には、管理者に届出て記録している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	21	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	9	・地域療育セミナーを開催している	・地域住民を招待する行事は行っていない。 ・ボランティアは受け付けている
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	22	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	21	0	・指示書や受診依頼を確認して対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	21	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	22	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22	0	・研修や委員会、報告がある		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	22	0			